



▲動画配信が見られます

議員のつぶやき

現状を一步でも前に進める取組みを



たむらなみゆき
田村 浪行

■ 孤独・孤立対策について

質問 社会的孤独・孤立の把握は

町 ▶ 町独自では把握していない

問 コロナ禍で深刻化する社会的孤独・孤立の実態把握は。

答 〔副町長〕
町独自では調査はしていないが、国の令和3年12月、「人々のつながりに関する基礎調査」に基づく「孤独感が常にある」、「しばしばある」と回答した割合は男性が4.9%、女性が4.1%となっている。

問 当事者からの申請だけではなく※1プッシュ型で支援する考えは。

答 〔保健福祉課長〕
国が策定した、孤独・孤立対策の重点対策の基本方針では、実態把握とともに申請主義によらない声を上げやすい環境整備を推進するとしており、今後調査研究していく。

※1…申請主義の弊害解消を目指して、住民の問い合わせを待たずに、必要な行政サービスにつなげていく方法

問 地域において当事者を包括的に支える支援体制は。

答 〔保健福祉課長〕
※1国の計画の中においても、高齢者に限定しない様々な年代の孤独・孤立に対する生活支援を行う包括支援センターの設置が求められているため、今後調査研究していく。



高齢者の相談に応じる高原地区地域包括支援センター

※2…孤独・孤立対策の重点計画

■ 自治会の地域見守り活動の推進について

質問 孤独・孤立者を生まない取組みは

町 ▶ 自治会への加入促進を図る

問 孤独・孤立に対する自治会等の地域見守り活動を進める考えは。

答 〔総務課長〕
見守り活動は地域における人との繋がり確保の役割を担い、居場所作りや交流の場へ発展する可能性が期待でき、自治会等に対して孤独・孤立対策の趣旨についても理解いただくよう周知していく。

問 自治会役員が改選されても見守り活動等が引き継がれる方策は。

答 〔総務課長〕
見守り活動等行ってきた自治会においては、その活動の必要性、重要性を改選後の役員にも理解を得ることが必要。自治会連合会の協力のもと周知を図っていく。

問 社会的孤独・孤立者を生まないために、移住者や地域住民が自治会に加入しやすくするための取組みは。

答 〔総務課長〕
加入することは孤独・孤立を未然に防止する効果があり重要である。加入促進を図るため、他自治体の優良事例を参考にしていく。

